

うつくしまふくしま未来支援センター定期研究会のお知らせ

福島大学は地元の国立大学として、

- ・避難者・被災者へのボランティア支援
- ・放射性物質による汚染地域での放射線量計測
- ・農畜水産物の実害調査
- ・復興計画・除染計画などの策定支援
- ・産業経済振興支援

など、福島県や市町村、各種団体、NPOなどと連携しながら行っています。

こうした支援・連携活動をさらに進めるとともに、長期にわたる復旧・復興への支援に組織的に対応するため、平成23年4月13日に「[うつくしまふくしま未来支援センター](#)」を立ち上げました。

このたび、[復興支援のための研究を相互に深め合うことを目的として、定期研究会を下記の通り開催することいたしました](#)のでお知らせいたします。

この定期研究会を通じて、当センターの活動を深めていきたいと考えています。興味・関心のある方は、奮ってご参加ください。(学生参加も歓迎します。)

うつくしまふくしま未来支援センター定期研究会(第10回)

日 時 平成25年4月17日(水) 15時00分～17時00分頃

場 所 S-11教室
(いつもと教室が違います。ご注意ください。)

発 表 「大規模災害の復興における諸アクターの役割」
ーハイチ大地震
藤本典嗣(環境エネルギー部門)

「2013年ソロモン諸島沖地震・津波と防災協力」
- ソロモン諸島地震津波調査 -
三村悟(企画コーディネート担当)
- ソロモン諸島の防災 -
金谷祐昭(JICA大洋州地域コミュニティ防災能力
強化プロジェクト)

研究会は毎月第3水曜日の15時から開催する予定です。
次回研究会は5月15日(水)の予定です。奮って御参加下さい。
お問い合わせは fure@adb.fukushima-u.ac.jp まで。